



担い手農家訪問運動



3月18日から30日にかけて、JA福井市管内にて担い手農家訪問運動が行われました。JA福井市の長谷川会長、豊岡理事長をはじめ、経済連の堺井常務、TAC、県連職員が担い手農家を訪問し、生産者の方々の要望や抱えている問題等を聞き入れ、今年一年のJAへの協力を仰ぎました。



左から堺井常務、生産者、TAC、豊岡理事長



長谷川会長（奥）と話をされる生産者（奥） ました。

訪問先では、配布資料の大型規格除草剤や地下水位制御システム等の情報案内以外に、飼料用米の作付けや来年度の米の価格、地域の農業事情や経営状況など、生産者の方々から様々な意見を聴くことができました。担い手農家のもとへJAの常勤役員が訪問したことで、直接意見交換ができた大変価値ある訪問運動となりました。

平成28年産 水稻直播・麦栽培技術講習会 JA吉田郡

3月18日、平成28年産水稻直播・麦栽培技術講習会がJA吉田郡本所にて開催され、管内で直播や麦を栽培する多くの生産者が集まりました。

始めに県農林総合事務所の中村主事より、これから始まる水稻栽培の「直播栽培のポイント」や、「今後の麦管理について」説明がありました。「直播栽培のポイント」では、種子の準備や播種、水田の水管理について、カルパーコーティング、鉄コーティングに分けて話がありました。また「今後の麦管理について」では、今年の気候条件は麦栽培にとってイレギュラーであり、小麦、大麦ともに出穂が早まると予想されていること等を説明。大麦は生育を確認し、過繁茂であれば追肥を行うよう呼びかけました。

その後、JA吉田郡より資材の変更や、注文書、委託作業についての説明が行われました。各説明の後には生産者より多くの質問が挙がり、今後の水稻栽培品種やカントリー利用について共通事項を確認するなど、生産者とJA職員の距離が近い講習会となりました。



福井県TACキックオフ大会 開催!

3月1日に「福井県TACキックオフ大会」が経済連総合施設センターにて開かれ、県内JAの担当役職員をはじめ、TACや担い手担当者ら約100名が集まりました。県下10JAで取り組まれているTAC活動をJA役職員に広く知ってもらうことで、TAC活動の体制強化やレベルアップに繋げていくことを目的として開催されました。

冒頭、香川理事長より「本県のTAC活動は8年目を迎え、TACの重要性は年々増している。担い手が求める要望に広く応えていくために、TACの方々には引き続き価値ある提案活動を行って頂きたい」と挨拶がありました。

全農TAC推進課^{そう}宗和弘課長より全国情勢が報告され、
その中で担い手あたりの面談回数は年8回が定着していることが、さらに今後は担い手の信頼を得ていくために年12回の月1訪問を目指していくことが必要だとの呼びかけがありました。

県内TAC事例報告では、JA越前丹生営農生活課の青山倫之係長より、水田園芸として取り組まれたスイートコーンやブロッコリー、キャベツ等の栽培内容や出荷率、所得等の紹介があり、提案から販売、反省まで生産者と一緒に作り上げることが重要であると強調されました。



Tとことん、A会って、Cコミュニケーション!!



JA青壮年部田谷会長からは、「TACに期待する」と題した講演がありました。自身が青年海外協力隊としてインドネシアで活動された経験を基に、インドネシアと日本の農村の違いについて話されました。インドネシアで感じた活気ある集落、勢いのある農業のキーワードとして「人との接点が多いこと」を挙げ、TACには積極的に農家に出向いて意見交換を行い、ニーズを知って欲しいという意見を頂きました。

取組目標発表では、県内67名のTACを代表してJA若狭担い手対策課の中積課長代理より発表があり、個人目標である「水田園芸の拡大」について、管内の加工キャベツや白ネギ栽培の課題と意気込みを述べられました。

基調講演の先進地JA事例報告では、今年度全国TACパワーアップ大会で全農会長賞を受賞した石川県JA小松市営農部南出部長より講演を頂きました。営農指導員は営農のプロ、TACは営業のプロと話し、TACは農家に寄り添い、感動を与えるJAの総合渉外役であると強く話されました。

その後、南出部長との意見交換会も催され、大変有意義な大会となりました。



「元気なふくいの農業」躍進大会 開催される



2月16日、福井県立大学にて「元気な福井の農業」躍進大会が開かれました。当日は冷え込みの強い日でしたが、会場3階席まで埋まるほどの大勢の生産者やJA関係者が訪れました。

前半は、農業技術通信社代表取締役で月刊「農業経営者」編集長の^こ吉則氏による「真の農業経営者はどうあるべきか〜大規模経営の展望〜」と題して講演が行われました。減反廃止後の水田経営リスクに対応していくためには、交付金に頼らない経営が必要であり、さらに時代の変化に応じていくために、未来から逆算して何をすべきか考えていくことが大事だと話されました。また、現在の水田の慣行体系では、規模拡大をしても経営のリスクが高いことから、投下労働あたりの収益が高い子実トウモロコシの作付けを勧めていました。



後半は、「これからの農業への思い」というテーマのもと、県内外6名の農業者によるリレートークが行われました。農業者の分野は大豆加工や畜産、米粉パン製造等と様々で、餅加工やコメの生産等を手掛ける「六星（石川県白山市）」の軽部英俊社長は、株式会社設立の経緯や直売所を始めた理由、外国での餅のPR等について話されました。今後は、外国では「グルテンフリー」の米粉等に興味を持つ方が多くいることから、日本の食文化を発信していきたいと強く話されていました。

昼食時には、県内の植物工場で作られたサラダの試食があり、ブースは大勢の人で賑わっていました。ドレッシングあり、なしの両方が配られ、興味深そうにトマトや葉物野菜等を味わって食べている人々の姿が見られました。



ふくい葱人サミット in 坂井

3月4日、「ふくい葱人サミット」がJA花咲ふくい芦原支店で開かれました。このサミットは葱人(=1ha以上の作付けを行っている大規模白ネギ生産者)を対象に、高品質な白ネギの大規模生産や、水稲との複合経営などの栽培技術を学び情報交換する場として開催されました。

始めに、経済連園芸特産課の大西課長より「白ネギの販売情勢」として、2015年度は出荷量1,197t、売上4億3000万円で、夏場の単価推移が良く売上が上昇したこと、福井ネギは白度が良く2~3年前よりも評価が上がっていること等が報告されました。これに加えて、大阪市場のシェアも14%と数字を伸ばしており、今後も売り場拡大・ブランド化の定着を図っていききたいと話されました。



その後、白ネギと水稲の複合経営の事例が5件発表されました。中でも、排水・灌水の2つの機能を持つ地下水位システム「FOEAS」を活用した白ネギ栽培の事例報告では、降雨後に水が溜まっていた圃場が、表面排水とFOEASにより劇的に改善し、反2.5t収穫できたこと報告がありました。

サミット後には質疑応答も交わされ、学びの多い大会となりました。

次に「秋田県での7~8月どり栽培への取り組み」をテーマに、秋田農業試験場の本庄主任より講演がありました。秋田県の白ネギ出荷は9~11月が多く、そこへ単価の高い7~8月に出荷できる栽培体系が求められたとのこと。雪で定植時期を早めることができないため、解決策として播種時期を早め、1穴2粒播種を1粒に変更。疎植にして、大苗で定植を実施することで在圃期間を短縮し、早期収穫を可能にしたことを話されました。その他栽培技術や温度条件、除草対策についても細かく説明されました。



花粉症シーズンがやってきた!

年々、増えている花粉症患者。過去 10 年間で花粉症の有病率は、1.5 倍に増えました。
2月から花粉が飛散し始めるため、今年の傾向や症状、対策、治療を知っておきましょう!!

今年の傾向

例年と比べ

やや少ない!!

◎飛散する花粉

2月 スギ・ハンノキ属

3月 ヒノキ科・イネ科

西日本では昨年夏の低温・日照不足・多雨により、花芽が形成されにくい条件になりました。

(日本気象協会より)

症状

【花粉症の4大症状】

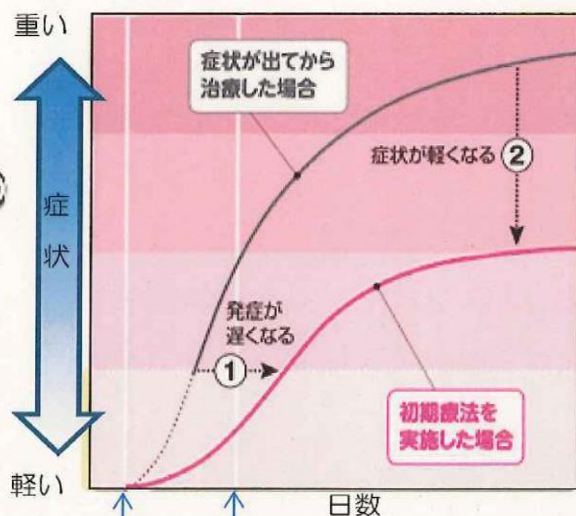
- ・ **くしゃみ** (連続して何回も出る)
- ・ **鼻水** (透明でサラサラしている)
- ・ **鼻詰まり**
- ・ **目のかゆみ**

その他にも、咳、倦怠感、頭痛、熱っぽいなどの症状をともなう場合もあります。

治療

早めの治療で

① 発症を遅らせ ② 症状を軽減 できます



対策

- ・ 花粉情報に注意する
- ・ **マスク、メガネ** を使用する
- ・ 帰宅時は、衣服・髪をよく払ってから入室し、**手洗い・うがい・洗顔** をする
- ・ 飛散の多いときは、洗濯物の外干しを避ける
- ・ 掃除をこまめに行う (特に窓際)
- ・ 花粉が付着しやすいコートは避ける



JA 福井県厚生連

福井大学医学部感覚運動医学講
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教授
藤枝 重治 先生

しっかり食べよう！朝ごはん！



朝は、脳もからだもエネルギー不足！
朝ごはんを食べて、エネルギーを補給しましょう！



◎朝ごはんでは生活の質をよりよく！

朝ごはんを食べると、時間管理能力や目的達成力が高くなると言われています。
つまり、朝からやる気が上昇し、仕事や勉強、家事などを効率的に行うことができます。

朝ごはんは、一日を活動的にいきいきと過ごすための大事なスイッチです！



◎朝ごはんでは病氣予防！

朝食抜きで病氣のリスクが上がります・・・

朝食を抜くと、肥満、高血圧、脂質異常症、および糖尿病のリスクが上がります。
また、最近の研究では、脳出血のリスクが上がることもわかってきました。



参考：H28 国立がん研究センター

◎朝は、ご飯食がオススメ！



脳のエネルギー源はブドウ糖です。ご飯はこのブドウ糖を多く含みます。
また、ご飯は粒食なので、ゆっくりと消化・吸収され、なだらかに血糖値を上げて、長時間維持します。つまり、脳にとって非常に安定したエネルギーの供給源なのです。

ご飯食はダイエットにもオススメ！

- ・腹持ちがいいのでおなかが空きにくく、間食が少なくなる
- ・体に脂肪を溜めるホルモンの分泌がゆるやかで、体脂肪の蓄積が抑えられる



J A 福井県厚生連

第17回 JAふれあい企画コンサート



古銭と

コンサート in サンドーム福井 ご招待

ご招待日

平成28年 7月9日(土)

◆1日2回公演

【第一部】開場／10時00分 開演／11時00分
終演予定／13時00分頃

【第二部】開場／14時30分 開演／15時30分
終演予定／17時30分頃

(ショー構成の関係上、終演時間に変更がある場合は
ご丁度下さい。)

◆主催／JAグループ

■会場■
サンドーム福井



詳しくは最寄りのJAへお問い合わせください。